

「クロモジ茶」に関する活用実証調査（中間報告）

平成25年12月6日

調査受託者：樹々の会

1 クロモジについて

クスノキ科の落葉低木で，里山として利用されてきた雑木林などによく見られ，樹高は2～3m程度になる。枝を折ると独特の香りがあり，高級楊枝として使用されている。

（「雨城（うじょう）楊枝」：千葉県指定伝統工芸品 君津市指定無形文化財）



2 クロモジ茶について

クロモジ茶はさわやかな香りとまろやかな口当たりが特徴で，下記のような効果があると言われています。

○有効成分

シネオール，リナロール，ゲラニオール，リナロール など

○効果

新陳代謝促進，皮膚の正常化作用，血圧降下作用 殺菌作用 など

→ 急性胃腸炎，皮膚病，下痢，冷え症 などの改善

3 右京区京北地域におけるクロモジ資源量調査（中間報告）

○調査地： 合併記念の森（京都市市有林）

○調査方法： 調査地点の斜面方向ごとに，100㎡の標準地を設け，出現本数をカウントする。

○調査結果： 表のとおり

調査地点（斜面方向）	出現本数	平均樹高
熊田町東谷（西）	5 / 12本	3m
熊田町東谷（東）	8 / 14本	2m

※ 調査地点は皆伐跡地が天然更新した森林

○今後の調査：「地形等を考慮した調査地点の変更」,「1本当たりのクロモジ茶生産量」

4 クロモジ茶のアンケート結果について（中間報告）

別紙のとおり

5 アンケート結果の考察

- ① 女性の回答数が多くなったが、男性と女性を比較しても回答結果に大きな差異はなかった。
- ② クロモジ茶の知名度は10%未満と低く、新鮮味があるお茶としては有効である。ただし、知名度が低いため、店頭販売が現実となった際には、謳い文句や効能の標記などの工夫が必要である。
- ③ ブレンド茶については、約70%程度がシンプルなクロモジ茶を好む傾向にあり、特に黒豆ブレンドに関しては一部不評の声があった。しかしながら、「レモングラスのようである」など、ブレンド茶を好む方もいるため、配合比などに変化を加え、引き続き検討材料として残していきたい。
- ④ クロモジ茶自体の味としては、70%以上が「おいしい」と感じており、全体的には好まれる味であると考えてよいと思われる。
また、ハーブティーと思われる方もおり、はじめに茶の種類を明確しておいた方が、味の感じ方やとっつきがよいのではないかとと思われる。
- ⑤ 購入希望については、「購入したい」が半数を占めており、店頭販売へ向けて期待が持てる結果である。後は、価格設定を考えていかなければいけない。

6 その他

京北地域では、クロモジのほか、下記の林産資源を例に活用が期待できる。

- ・ナツハゼ（ジャム）
- ・ツノハシバミ（和製ヘーゼルナッツ）
- ・ホオノキなど